

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた分散避難

避難所では、「3密(密閉・密集・密接)」になりやすく、新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まりやすい環境下にあります。そのため、避難所における3密状態を防ぐために、避難所への避難に限らず、分散避難の検討をしましょう。

避難所以外の分散避難の例

安全な地域にいる親戚や友人などの家への避難

・台風接近の情報などを取得した際は、危険が迫る前に、安全な地域にお住いの親戚や友人、知人などへの家に早めに避難する。



旅館・ホテルへの避難

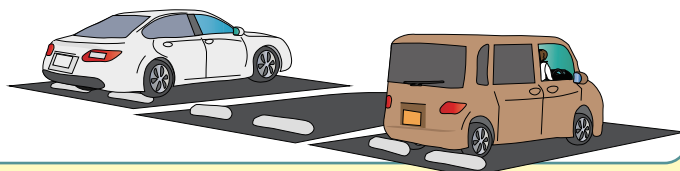
・頼れる親戚や友人、知人などが周りにいない場合は、旅館・ホテルへの避難も検討する。



安全な場所での車中避難

・親戚や友人、ホテルなどの滞在が難しい場合は、浸水する可能性が無い高台や駐車場などでの車中避難を検討する。駐車場としては、公共施設の駐車場や市への協力により災害時に駐車場を開放している民間駐車場があります。

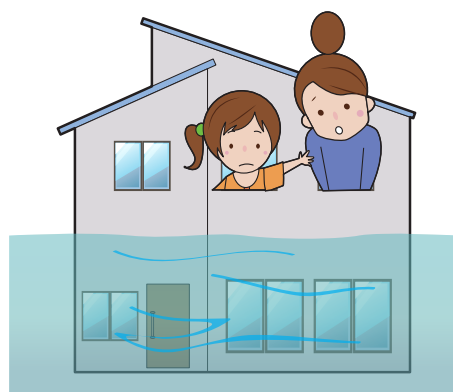
市の指定する車中避難所については災害のおそれのある場合に開設しますので市のウェブサイト等でご確認ください。



自宅の2階などへの垂直避難

・親戚宅などへの縁故避難、ホテル滞在や車中避難が難しい場合や、具合が悪い家族がいるなど避難が困難な場合は、自宅の2階などへの垂直避難を検討する。

ただし、洪水ハザードマップで浸水深が3mを超えるエリアの場合は、2階以上まで浸水する可能性が高く危険です。あらかじめ、洪水ハザードマップで想定される浸水深を確認しましょう。



高齢者など要配慮者の避難

・高齢者などの要配慮者は、足が悪かったり、具合が悪いなど急な避難が難しい場合があります。台風の進路などを確認し危険が迫る場合には、病院のソーシャルワーカーや介護施設のケアマネージャーのほか、地域の包括支援センターなどに早めに相談し、より安全な医療・介護施設への入所やショートステイを検討することも必要です。

